

## ずっと目標にしていたアドバイザー昇格を叶えた川田陽子さんをご紹介

20代の頃からニキビなどの肌トラブルに悩み、50代で出会ったエルブジュール化粧品で素肌美を叶えた川田陽子さん。溢れる素肌美の喜びとエルブ愛を皆様に伝え続け、念願だったアドバイザーに昇格しました。

**素肌がきれいになった喜びと、大切な仲間がたくさんできた幸せ。**

**エルブジュール化粧品が、私の人生を変えてくれました。**



素肌にポイントメイクだけで撮影

エルブ・ミモザ  
エルブ アドバイザー  
かわた  
川田 陽子さん(72歳)  
埼玉県深谷市在住  
使用歴／17年9ヵ月

川田さん。生き生きとエルブの活動をおこなっている様子が伝わってきます。

「お手入れ会では、お一人お一人の肌がきれいになっていくのもよくわかるし、それを喜び合えるのも、とても嬉しいです。『みんながエルブできれいになるために、自分ができることをしたい』という、以前から持ち続けてきた想いは、ますます強くなっています。」

これからは、ぜひエルブ本社で開催されるお手入れ会にも仲間の皆様をお連れしたいと話す川田さん。仲間と共に、もっと楽しく、もっときれいになる素肌美ライフへの期待で、胸が膨らみます。

「今の私の目標は、ずっと愛用してくれている仲間たちにアクティブビューティーズになってもらうこと。私自身がそうだったように、皆さんにも、アクティブビューティーズになってもっと楽しく、もっときれいになって頂きたいです。そして私も、夢もあり、目標でもあるエルブリーダーを目指し、これからも頑張っていきます。」



川田さん主催のお手入れ会の様子

# エルブだより

2024年 2月号

お客様コールセンター  
FreeDial 0120-268-525

## 美しいルーツ～エルブジュール 植物図鑑～



# エルブジュール化粧品が、 ありのままの素肌を輝かせる。

## 50年の時を越えて受け継がれる、素肌美への想い

エルブジュール化粧品の歴史は、今から約50年前、エルブ創業者吉村衣代の想いから始まりました。それは、「ありのままの素肌が美しいことこそ、一番の喜び」というものです。素肌そのものが美しければ、素肌にポイントメイクだけで清々しく過ごすことができる。飾らない、ありのままの肌と心で、自然と笑顔が溢れてくる。50年の時を越えた今も、素肌美への想いを受け継ぎ、皆様の元へエルブジュール化粧品をお届けしています。

ありのままの素肌が輝くから、笑顔あふれる毎日に。  
それが「素肌美ライフ」

35種類のハーブと寒天から作られたエルブジュール化粧品。自然の恵みとやさしさが肌を癒し、お手入れする毎に、肌が健やかに、美しく輝いていきます。エルブジュール化粧品のお手入れは、心も癒して日々を元気に生きる力となり、素肌が輝くことで、笑顔あふれる毎日に。そんな「素肌美ライフ」を、ご愛用いただくすべての皆様に叶えていただくことを願い、これからもエルブジュール化粧品は皆様の素肌を輝かせます。



エルブ公式LINEでも きれい情報発信中! ぜひ友だち登録してください。

## きれい体験談

素肌がきれいになり、ノーファンデーションに。  
何も隠さない素肌で、清々しく日々を過ごしています。



素肌にポイントメイクだけ撮影

高橋 緑さん(69歳)

群馬県伊勢崎市在住  
使用歴／4年1ヶ月

小学校の先生として34年勤め、退職後は着付けの免許を取得して着付け教室を開き、多くの方々から「緑先生」と呼ばれ慕われている高橋緑さん。エルブジュール化粧品に出会い4年が経ちましたが、半年程前からノーファンデーションで過ごせるようになったそうです。「お手入れ会などでお会いする皆様の肌を見る度に『きれいだな』『清潔感があつていいな』と思っていましたが、自分がノーファンデーションになる勇気はなかなか持てなくて…。でも、中学生の孫が『お肌きれい』と何度も褒めてくれたり、自分でも鏡を見て『あら? きれいね』と思える瞬間があったりしたことで、思い切ってノーファンデーションに。隠すことのない素肌で、いられて、呼吸も楽になったように感じます。これまで出来なかった日中の手入れも素肌だからこそできるし、肌を清潔に保てるのも良いですね。」

若い頃から美意識が高かった高橋さん。エルブジュール化粧品に出会いうまでも、様々な化粧品を試してきたそうです。

「教員時代は1年生をずっと受け持っていて、休み時間は外遊びに付き合い、体育、運動会、マラソン大会…紫外線と寒風で肌にはとても過酷でした。帰宅して鏡を見ると、肌がひび割れているように見えて…。お金もずいぶんかけ、退職後も色々な化粧品を試しましたが、あまり効果は得られませんでした。」

そんな高橋さんの肌が、エルブに出会い、大きく変わりました。「一番気になっていたのが子供の頃からあったソバカスなのですが、気にならないくらい薄くなりました。また、数年前に転んでしまった時の傷がずっと頬に赤く残っていたのですが、驚くことにそれも消えて、とても嬉しいです。」

ソバカスや傷跡を目立たなくするため、コンシーラーなども使っていたという高橋さんですが、ノーファンデーションになり、今では何も隠さず、素肌で清々しく過ごしているそうです。

「清潔感を大切にしたいと考えているので、エルブで素肌そのものがきれいになれたのは、本当に嬉しいです。これからも素肌美と共に、平和な日々を願い、穏やかに過ごしていきたいです。」